

## 会員へのお知らせ

### 外陰癌進行期分類の改定について

学会会員 殿

外陰癌の新 FIGO 進行期分類 (FIGO 2021) が、2021 年に公開されたことに伴い、婦人科腫瘍委員会で検討を行い、外陰癌進行期分類 (日産婦 2022, FIGO 2021) へ改訂いたしました。令和 3 年度第 4 回理事会 (2022 年 3 月 5 日) において、この改訂が承認されましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

また、2022 年 12 月に子宮頸癌取扱い規約 病理編 第 5 版 (日本産科婦人科学会、日本病理学会編) が発行される予定です。本進行期分類はその巻末に付録として掲載を予定しています。本進行期改訂に伴い、外陰癌は、2023 年 1 月 1 日の症例より新進行期分類に沿って、症例登録を行っていただくようお願いいたします。2023 年治療症例の登録は、新しい進行期分類と登録要項に基づいて 2023 年 10 月から登録開始になりますことを申し添えます。

2022 年 5 月

公益社団法人日本産科婦人科学会

理事長 木村 正

婦人科腫瘍委員会

委員長 永瀬 智

### 外陰癌進行期分類 (日産婦 2022, FIGO 2021)

外陰癌は、手術摘出標本の病理学的所見により進行期を決定する

I 期：外陰に限局した腫瘍

I A 期：腫瘍径 2cm 以下の腫瘍で、間質浸潤の深さ<sup>註1</sup>が 1mm 以下のもの

I B 期：腫瘍径 2cm をこえるかまたは間質浸潤の深さ<sup>註1</sup>が 1mm をこえるもの

II 期：腫瘍が隣接組織の下部 (尿道下部 1/3, 陰下部 1/3, 肛門管<sup>註2</sup>下部 1/3) に浸潤するもの。リンパ節転移はない。腫瘍の大きさは問わない

III 期：腫瘍が隣接組織の上部まで浸潤するか、固着や潰瘍を伴わない鼠径リンパ節に転移のあるもの。腫瘍の大きさは問わない

III A：尿道上部 2/3, 陰上部 2/3, 肛門管<sup>註2</sup>上部 2/3, 膀胱粘膜, 直腸粘膜に浸潤する腫瘍, または 5mm 以下の鼠径リンパ節転移があるもの。腫瘍の大きさは問わない

III B：5mm をこえる鼠径リンパ節転移があるもの

III C：被膜外浸潤を有する鼠径リンパ節転移があるもの

IV 期：腫瘍が骨に固着するか、固着あるいは潰瘍化したリンパ節転移があるもの。または遠隔転移のあるもの。腫瘍の大きさは問わない

IV A 期：骨盤骨に固着した腫瘍か、固着あるいは潰瘍化した鼠径リンパ節<sup>註3</sup>転移があるもの

## IV B 期：遠隔臓器に転移のあるもの

<sup>注1</sup> 癌および VIN の近傍にある正常表皮突起の最深部の基底膜の深さから癌の浸潤先端の深さまでの距離を間質浸潤の深さとする

<sup>注2</sup> ここでの肛門管は肛門縁から肛門括約筋上縁の高さまでの部分である

<sup>注3</sup> 鼠径リンパ節は深鼠径および浅鼠径リンパ節を指す